

水道管等に使用された塗料に関する不適切な行為への対応について

上下水道局

発生の経過

1月12日に、水道管「ダクタイル鋳鉄管」等の外面塗装に使用されている塗料について、塗料メーカーの神東塗料（株）が、『塗料の試験データを改ざんし、認証を不正に取得した疑いがあること』を公表した。

これを受け、水道用資機材の規格制定と認証等を行っている第三者機関「公益社団法人日本水道協会」は、対象塗料を用いて製造したダクタイル鋳鉄管の管材メーカーに出荷停止を要請した。

不適切行為の内容

- ・塗料の規格取得時に、同規格で規定されている試験条件と異なる条件で得られた試験結果により認証を取得した。
- ・規格認証品の中に、同規格で指定された以外の原料が使用されているものがある。

当市で確認できている状況

- ・施工中の箇所 1月12日現在
水道本管理設工事箇所（12箇所）及び給水切替工事箇所（2箇所） 総延長 3.7 km分
- ・当該塗料は、主に水道管及び資機材の外面で使用されており、継手内面の一部分で水道管に接触するものの、その面積は限られていること。
- ・水道水の安全性については、水道局で実施している定期水質検査において、国が定める水質基準に適合しており、これまで異常は確認されていないこと。

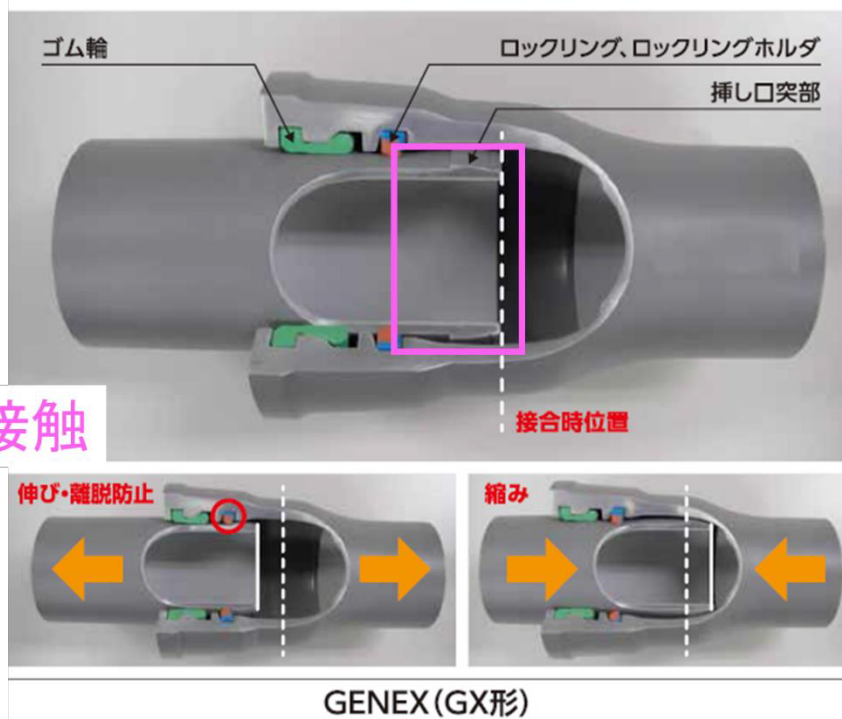
当市の対応

- ・飯田市発注工事現場で使用承認した材料（水道管）の安全性が確保されるまでの間、当該塗料を使用した製品の使用中止・工事停止を指示した。（1/12～1/17）
- ・使用可能製品の判別がなされたとの関係機関からの情報を基に判定した結果、使用する製品について再協議頂き、飯田市において確認した工事については工事停止を解除することとした。（以降、使用可能製品の判定は拡大中）
- ・水道水の安全性については、水質検査で異常がないことを踏まえ、引き続き水質状況を注視しつつ、水道用水の供給を継続する。

今回の問題につきましては、厚生労働省や公益社団法人日本水道協会において調査が行われております。

今後も、情報の把握に努めるとともに、事態の進捗を注視する中で対応します。

挿し口が水に接触



■ダクタイル (Ductile) 鋳鉄管 とは

「延性のある鋳鉄管」という意味。強度と延性に優れ、内圧・外圧に対して高い安全性があり、全国の水道事業では、管種シェア 60%、年間約 5000 k m 布設 (厚生労働省統計より)

